

++ “Code” は、映像と音楽を演奏するためのソフトウェアです。

キーワードをタイピングし、エンターキーで入力することでプレイできます。

++ 操作方法

キーワードは2種類に分類されます：**オブジェクト用キーワード**と**コマンド用キーワード**

オブジェクト用キーワードの入力により、次の3タイプのオブジェクトを作れます；**点**、**線**、**面**

・ **点のキーワード**は**点のオブジェクト**を作ることができます。

それぞれのオブジェクトは音を鳴らします。

- **線のキーワード**は**線のオブジェクト**を作ることができます。

線のオブジェクトを作るには2つ以上の点オブジェクトが必要です。

□ **面のキーワード**は**面のオブジェクト**を作ることができます。

面のオブジェクトが存在するとき、オブジェクトは3次元に動くことが出来るようになります。

+ **コマンド用キーワード**で、**以上のオブジェクト**を操作できます。

いくつかのコマンド用キーワードは対象を指定できます。 例：“force > point pixel”

■ 同じキーワードを打ち込むとオブジェクトの音のリズムが更新されます。

■ オブジェクトキーワードは後ろにドットを打ち込むことでメソッド機能呼び出せます。例：“point.red”

■ “Tab”、“CapsLock”、“Alt” キーのいずれかでキーワードをサーチできます。

■ 自分の好きな言葉をキーワードに定義できます。例：“Point hoge”、“Line hoge”、“Face hoge” .

■ F9 キーを押すことでコンフィグ画面を出すことができます。

++ キーワードリスト

• Points

"point" "pixel" "spot"
"ball" "dot" "stylus" etc ...

- Lines

"line" "ray" "beam"
"road" "wire" etc ...

□ Faces

"face" "wall" "sheet"
"board" "plane" etc ...

+ Commands

Deletes : "delete" "pointless" "lineless" "faceless" "reset"

Spatters : "random" "spatter" "run"

Movings : "stop" "force"

Effects : "delay" "delay off" "blur" "night" "dawn" "up-trim"



“Code” をご家庭の PC でもプレイできます！

Web サイトにアクセス下さい：<http://samb.jp/contents/Code/Code.htm>